

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公表番号】特表 2004-534020 (P2004-534020A)

【公表日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2004-044

【出願番号】特願 2002-585468 (P2002-585468)

【国際特許分類】

**C 0 7 K 16/18 (2006.01)**

**A 6 1 K 39/395 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**C 0 7 K 19/00 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/53 (2006.01)**

**C 1 2 N 5/06 (2006.01)**

**C 1 2 P 21/08 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 K 16/18

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 19/00

G 0 1 N 33/53 D

C 1 2 N 5/00 E

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 6 日 (2006.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 または配列番号 2 のアミノ酸約 46 ～アミノ酸約 62 のアミノ酸残基にまたがるドメインに含まれる C r i p t o のエピトープと特異的に結合する抗体。

【請求項 2】

A 10B2 . 18 および B 3F6 . 17 からなる群より選択されるハイブリドーマによって産生される抗体が結合する、エピトープの群から選択されたエピトープと結合する抗体

【請求項 3】

C r i p t o に特異的に結合し、C r i p t o をインターナライズし得る抗体。

【請求項 4】

配列番号 1 または配列番号 2 のアミノ酸残基約 114 ～アミノ酸残基約 150 にまたがるシステインリッチドメインに含まれるエピトープに特異的に結合する、抗体。

【請求項 5】

A 6C12 . 11、A 8G3 . 5、および A 6F8 . 6 からなる群より選択されるハイブリドーマによって産生される抗体が結合する、エピトープの群から選択されたエピトープと結合する、抗体。

## 【請求項 6】

C r i p t o と特異的に結合し、C r i p t o と A L K 4 との間の相互作用を阻害する抗体。

## 【請求項 7】

ハイブリドーマ A 6 C 1 2 . 1 1、A 6 F 8 . 6、A 7 H 1 . 1 9、A 8 F 1 . 3 0、A 8 G 3 . 5、A 1 9 A 1 0 . 3 0、A 1 0 B 2 . 1 8、A 2 D 3 . 2 3、A 7 A 1 0 . 2 9、A 9 G 9 . 9、A 1 5 C 1 2 . 1 0、A 1 5 E 4 . 1 4、A 1 7 A 2 . 1 6、A 1 7 C 1 2 . 2 8、A 1 7 G 1 2 . 1、A 1 7 H 6 . 1、A 1 8 B 3 . 1 1、B 3 F 6 . 1 7、および B 1 1 H 8 . 4 によって産生される抗体が結合する、エピトープの群から選択されたエピトープと特異的に結合する、モノクローナル抗体。

## 【請求項 8】

F a b フラグメント、F a b ' フラグメント、および F ( a b ) 2 フラグメントからなる群より選択される抗体フラグメントである、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 9】

全長抗体である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 10】

単鎖抗体である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 11】

化学療法剤に結合されている、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 12】

非結合化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 13】

前記化学療法剤が、腫瘍活性化プロドラッグ、放射性核種および毒素からなる群より選択される、請求項 11 に記載の抗体。

## 【請求項 14】

前記薬剤が、メイタンシノイドである、請求項 13 に記載の抗体。

## 【請求項 15】

前記抗体がヒト抗体である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 16】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 17】

前記抗体がヒト化抗体である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の抗体。

## 【請求項 18】

請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の抗体の少なくとも 1 つおよびキャリアを含む、薬学的組成物。

## 【請求項 19】

前記抗体が化学療法剤に結合されている、請求項 18 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 20】

さらに非結合化学療法剤を含む、請求項 18 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 21】

メイタンシノイドに結合された、配列番号 1 または 2 のアミノ酸残基 46 ~ 62 にまたがるドメインに含まれるエピトープに特異的に結合する抗体またはそのフラグメントを含む、薬学的組成物。

## 【請求項 22】

前記抗体がヒト化 B 3 F 6 . 17 である、請求項 21 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 23】

インビトロの腫瘍増殖を減少させるための、請求項 18 ~ 22 のいずれか一項に記載の組成物の使用。

## 【請求項 24】

前記組成物が、インビボの腫瘍増殖を減少させるための組成物である、請求項 18 ~ 22 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 25】

前記腫瘍細胞が、乳房腫瘍細胞、精巣腫瘍細胞、結腸腫瘍細胞、肺腫瘍細胞、卵巣腫瘍細胞、膀胱腫瘍細胞、子宮腫瘍細胞、子宮頸腫瘍細胞、膵臓腫瘍細胞、および胃腫瘍細胞からなる群から選択される、請求項 23 に記載の使用。

【請求項 26】

前記腫瘍細胞が、乳房腫瘍細胞、精巣腫瘍細胞、結腸腫瘍細胞、肺腫瘍細胞、卵巣腫瘍細胞、膀胱腫瘍細胞、子宮腫瘍細胞、子宮頸腫瘍細胞、膵臓腫瘍細胞、および胃腫瘍細胞からなる群から選択される、請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 27】

前記組成物が、所望でない細胞増殖を処置するための組成物である、請求項 18 ~ 22 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 28】

サンプルに 18 ~ 22 のいずれか一項に記載の組成物を添加する工程を含む、サンプル中でのインビトロの腫瘍細胞の増殖を調節する方法。

【請求項 29】

インビボの腫瘍増殖を減少させるための医薬の調製における、請求項 18 ~ 22 のいずれか一項に記載の組成物の使用。

【請求項 30】

前記腫瘍細胞が、乳房腫瘍細胞、精巣腫瘍細胞、結腸腫瘍細胞、肺腫瘍細胞、卵巣腫瘍細胞、膀胱腫瘍細胞、子宮腫瘍細胞、子宮頸腫瘍細胞、膵臓腫瘍細胞、および胃腫瘍細胞からなる群から選択される、請求項 29 に記載の使用。

【請求項 31】

所望でない細胞増殖の処置のための医薬の調製における、請求項 18 ~ 22 のいずれか一項に記載の組成物の使用。